

令和5年度 学校評価アンケート（中間評価）結果について

1. 生徒アンケート集計と分析

生徒

質問項目	重要度	実現度
係やそうじ、委員会の仕事をしっかりできている。	6.4	6.0
友だちに嫌な思いをさせないようにしている。	6.6	5.9
家族と過ごす時間を大切にしている。	6.3	5.8
先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.3	5.8
学校の決まりや約束事を守っている。	6.3	5.7
学校に行くことが楽しい。	6.3	5.7
授業に必要な準備をし、前向きに授業に参加している。	6.4	5.5
礼儀や言葉遣いに気をつけている。	6.5	5.5
自分から進んであいさつをしている。	6.2	5.1
授業の内容がよくわかる。	6.4	5.1
困ったことは、先生や家族に相談している。	6.2	5.1
学校からの配布物を保護者に渡している。	6.4	5.1
早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が出来ている。	6.3	5.0
家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている。	6.1	5.0
学校がいじめに対して取り組んでいることを知っている。	6.1	4.7
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6.0	4.4
スマホ、タブレット、ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している。	5.5	4.3
平日、課題の取組や家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)に、平均して1日1時間以上取り組んでいる。	5.7	3.9
1日平均30分以上(朝読書を含む)読書をしている。	4.7	2.8

※実現度が高い項目の順に上から並べてあります。

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7 「やや重要である」…5 「あまり重要でない」…3 「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7 「やや出来ている」…5 「あまり出来ていない」…3 「出来ていない」…1

アンケートのご協力ありがとうございました。

今年度の結果を見ると、質問項目のほとんどで「重要である」と認識していると判断できます。特に、友人関係や学校生活の約束事などについては「重要度」は高くなっています。ただ、唯一「読書」に関しては「重要度」「実現度」共に低い数値になっています。昨年度の「年間評価」の数値でも低くなっています。継続した課題であると考えられます。学校では図書館を利用した授業を展開したり、「選書会」を開催するなど読書に親しむ環境を提供する働きかけをしています。朝読書の時間の確保など、より「読書」への関心を高められる取り組みを進めていきたいと考えます。

次に「実現度」の低い項目に注目すると「平日の家庭学習」についてが挙げられます。「重要度」「実現度」も他の項目に比べ低い数値になっています。そこに関係するのが、「スマホ・タブレットの使い方やルールについて」の項目が関わっていると考えられます。ついつい時間を費やし、勉強の時間を削っていることが想像できます。また、今年度もスマホなどを利用したSNS上への書き込みや投稿によるトラブルは起きています。そこから始まる人間関係のトラブルも多く、学校や学年、クラスへの不振にもつながります。そういう課題を解決するためにも、スマホやタブレットなどのICT機器の使用についてそれぞれが、しっかりしたルールを持ち、責任をもって利用することが大切になってきます。マナー・ルールについて指導は、学校だけでなく家庭との更なる連携が大切になると考えます。

2. 保護者アンケート集計と分析

保護者

質問項目	重要度	実現度
子どもに、友だちを大切にするよう働きかけをしている。	6.7	5.7
子どもは楽しく学校に通っている。	6.7	5.5
子どもが、先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.7	5.5
子どもに、決まりや約束事を守るよう働きかけをしている。	6.7	5.2
子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。	6.5	5.2
家族で過ごす時間を大切にしている。	6.5	5.2
子どもに、礼儀や言葉遣いに気をつけるよう働きかけをしている。	6.7	5.0
子どもに、自ら進んであいさつするよう働きかけをしている。	6.6	4.9
学校からの配布物やホームページ等で、学校の様子が伝わってくる。	6.2	4.9
子どもが早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができるよう働きかけをしている。	6.6	4.8
子どもに、授業に集中して取り組むように働きかけをしている。	6.5	4.6
子どもが学習内容をどの程度理解しているかをテスト結果や家庭学習などを通じて把握しようとしている。	6.4	4.6
子どもに家族の一員としての役割（家の手伝いなど）を作るようにしている。	6.1	4.3
学校いじめの防止等基本方針があることや、いじめに対して取り組んでいることを知っている。	6.3	4.2
学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようにしている。	5.2	4.1
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6.4	4.0
子どもに、家庭学習（塾や家庭教師の時間を含む）の習慣が定着するよう働きかけをしている。	6.2	4.0
子どものスマホ、タブレット、ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している。	6.2	3.9
子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている。	5.7	3.0

※実現度が高い項目の順に上から並べてあります。

○数値の計算方法について

重要度 「とても重要である」 … 7 「やや重要である」 … 5 「あまり重要でない」 … 3 「重要でない」 … 1

実現度 「とても出来ている」 … 7 「やや出来ている」 … 5 「あまり出来ていない」 … 3 「出来ていない」 … 1

アンケートへのご協力ありがとうございました。

昨年度の年間評価の結果と比較すると上位にくる項目については、おおよそ変化はありませんでした。その中で「学校に相談しやすい雰囲気がある。」という項目に関しては、昨年度よりも「実現度」が高くなっています。4.8pから5.2pと0.4pも上がっています。昨年度まで実施も難しかった休日参観をはじめ、多くの保護者の方々に来校いただき、学校の様子を見ていただく中で、「家庭」と「学校」との距離感をより縮めることができたのかと思いました。より一層、学校教育にご理解、ご協力をいただけるように「家庭」と「学校」の距離感を縮められればと思います。そのためにも、「実現度」が比較的低い「いじめ」に関する学校の取り組みが急務かと思われます。「重要度」はいずれも高く、学校という場所が、生徒本人はもとより保護者の方にも「安心」「安全」な場所であると思ってもらえる学校づくりが大切になります。

「重要度」「達成度」のいずれも高い数字になっている「友だちを大切にすること」「決まりや約束事を守ること」これらの点についても「学校」と「家庭」で共有することで子供たちへの影響力も変わってくると思います。共通した意識の中で子供たちを見守ることは大切なことであると考えます。学校としても「楽しく学校に通っている。」生徒を一人でも多く増やせるように努力してまいります。今後とも学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いします。